

西俊輔の「毎日楽しく」

Vo1.96 2013年8月号

先日、出張である空港へ行った時のことです。出発ロビーへ向かうためのエスカレーターに乗っていたのですが、みなさんもよくご存知のように、エスカレーターって、急いでいる人のために片側を空けて立つのが一般的ですよ。北海道や関東では左側に立って右側を空けておくのが一般的ですし、関西はその逆で、左側を空けておくのが暗黙の「ルール」になっています。私もその暗黙のルールにのっとって、左側に立って右側を空けておきました。もちろん、私の前後の人たちも同じです。

ところが、そうして立っていた私のすぐ右ななめ後ろぐらいに人の気配を感じてから、空けてあったエスカレーターの右側を上っていく人の流れが途絶えました。そこで、かるく右ななめ後ろを振り返ってみると、みんなが空けているエスカレーターの右側に立ったまま、エスカレーターを急いで上ろうとする人たちを「とうせんぼ」している若者がいます。お年寄りの方などであれば、こうした暗黙のルールを知らない人も多いようですから、そんなときは急いでいる人も「しょうがないか」と諦めるところですが、とうせんぼしているのは若者ですし、空港のエスカレーターですから急いでいる人も多く、後ろにつまっている人たちもジリジリしていたようで、ちゃんと右側を空けてあった私までがなんだか申し訳ない気持ちになり（なにしろ私のすぐ右ななめ後ろですから）、私がどうにか移動して通路を空けられないか考えていたところ、とうせんぼしていた若者のすぐ後ろに立っていた中年の男性がとうとう、その若者に声をかけました。

「ちょっと、そこ空けてくれない？」

するとその若者は声をかけた中年の男性に対して、

「エスカレーターは上り下りをするものじゃありませんよ。」

と、冷たく言い放ちました。たしかにその若者の言うとおり、エスカレーターは本来、だまって立っているのが正しい乗り方だそうで、階段のように上り下りするのは危険なので、若者が言ってるのは正しいことです。正しいことを言っただけはいいですが、その場の雰囲気なんとも気まずいこと…。

正しいことを言うにも、言い方と相手への思いやりというものが大切だと感じました。

